

電子署名応援 (Ver.H23.29)

セットアップ手順書

「電子署名応援 (Ver.H23.29)」のセットアップ手順について説明します。

はじめに

◆InterKX 電子申告／電子申告応援との受け渡し処理

電子署名応援は、次のシステムと受け渡し処理を行うことができます。

- InterKX 電子申告
- 電子申告応援

また、受け渡し処理は 同一バージョン同士でないとう行うことができませんのでご注意ください。

◆電子申告応援との共存の禁止

電子申告応援をセットアップ済みのコンピューターには、電子署名応援をセットアップしないでください。
電子署名応援をセットアップしてしまうと、電子申告応援において一部の機能が使用できなくなります。



誤ってセットアップをしてしまったら・・・

電子申告応援をセットアップ済みのコンピューターに誤って電子署名応援をセットアップしてしまった場合は、以下のように対処してください。

- ①コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」画面から、「電子署名応援」をアンインストールします。
- ②電子申告応援をセットアップします。

目次

電子署名応援のセットアップ	1
1.1 セットアップ実行前の確認事項	1
◆ 対応 OS	1
◆ バージョンアップ前の確認事項	1
1.2 セットアップ手順	1
データ移行処理	3
システムの変更点	4

商標等について

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

1

電子署名応援のセットアップ

1.1 セットアップ実行前の確認事項

セットアップを実行する前に、次の内容についてご確認ください。

◆ 対応 OS

- (32 ビット版のみ) Windows® XP、Windows Vista®
- (32 ビット版/64 ビット版) Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1



なお、電子署名処理および送信処理については、国税または地方税の動作環境を満たしていることをご確認ください。

◆ バージョンアップ前の確認事項

セットアップは、管理者権限（Administrators 権限）のあるユーザーのログオンで実施してください。

1.2 セットアップ手順

電子申告ダウンロードサイトからのバージョンアップを行います。

操 作

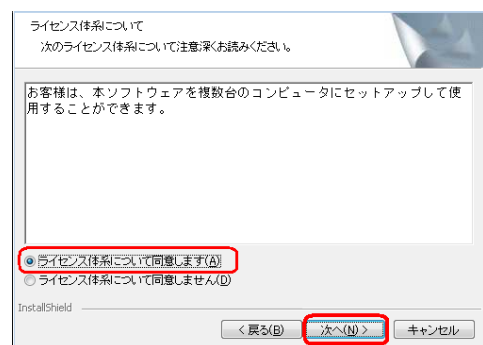
- 1** ダウンロードページから保存した SYO2329.exe のアイコンをダブルクリックします。

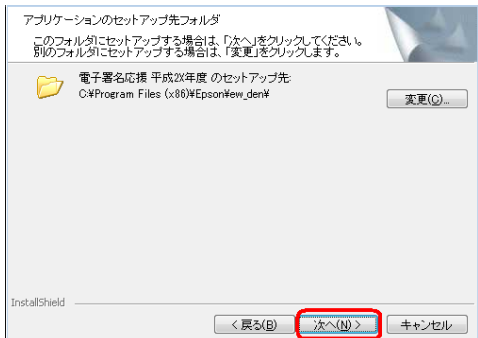
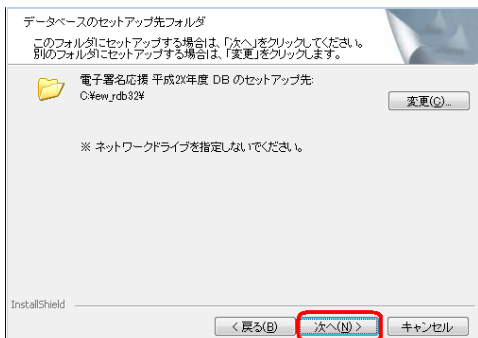
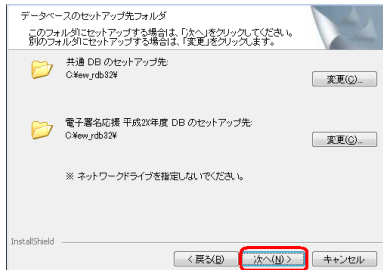


- 2** ダウンロード後、自動的に解凍処理を行います。
※ 途中で警告画面が表示された場合は、<実行>を選択してください。

- 3** 確認画面（ようこそ）が表示されます。
<次へ>をクリックします。

- 4** 「ライセンス体系について」の画面が表示されます。
「ライセンス体系について同意します」を選択し、<次へ>をクリックします。



<p>5</p>	<p>「ユーザー情報」の入力画面が表示されます。</p> <p>必要に応じて、「名前」と「所属」を入力します。</p> <p>内容を確認して、<次へ>をクリックします。</p>	
<p>6</p>	<p>ユーザー情報確認の画面が表示されます。内容を確認し、<次へ>をクリックします。</p>	
<p>7</p>	<p>プログラムのセットアップ先フォルダが表示されます。</p> <p>例) C:\Program Files\Epson\ew_den</p> <p>セットアップ先を確認して正しいときは、<次へ>をクリックします。</p> <p>※ セットアップ先を変更するときは、<変更>をクリックします。</p>	
<p>Ver.H23.10以降からのバージョンアップの場合、次の8は省略されるため、表示されません。</p>		
<p>8</p>	<p>データベースの格納先フォルダが表示されます。</p> <p>例) C:\ew_rdb32</p> <p>セットアップ先を確認して正しいときは、<次へ>をクリックします。</p> <p>※ セットアップ先を変更するときは、<変更>をクリックします。</p>	
<p>8</p>	<p>この画面は、右のように表示される場合があります。</p> <p>この場合、両方のセットアップ先が同じになるようにしてください。</p> <p>セットアップ先を確認して正しいときは、<次へ>をクリックします。</p> <p>※ セットアップ先を変更するときは、<変更>をクリックします。</p>	
<p>9</p>	<p>ファイルコピーの開始を確認する画面が表示されます。内容を確認して、<次へ>をクリックします。</p>	
<p>10</p>	<p>セットアップが始まります。</p> <p>セットアップが終了すると、「セットアップを完了しました」と表示されますので<完了>をクリックします。</p>	
<p>11</p>	<p>Windows の再起動の選択メッセージが表示されます。</p> <p><u><はい>を選択して、必ず再起動を行ってください。</u></p>	

以上でセットアップは終了です。

2

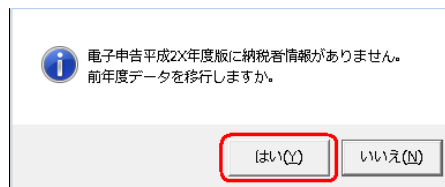
データ移行処理

前年度版からのバージョンアップの場合、初回起動時にデータ移行処理を起動します。

◆ データ移行確認画面の表示

当年度版にデータが1件もない場合（≒初回起動時）に、「データ移行確認画面」（右の画）を表示します。

不要なデータはデータ移行後に納税者削除を行ってください。



◆ 移行する内容

納税者情報や設定ファイルのみが移行の対象となり、申告データや受付結果などは移行対象外となります。

納税者マスター、 および税理士マスター	担当税理士などの情報や納税用確認番号の保存情報なども含みます。
納税者基本情報マスター	各納税者データに含まれる「納税者基本情報」の設定値を移行します。
地方税基本情報ファイル	ダウンロードした基本情報ファイルを当年度版でのそのまま使用できるよう移行を行います。

◆ 移行後の事業年度

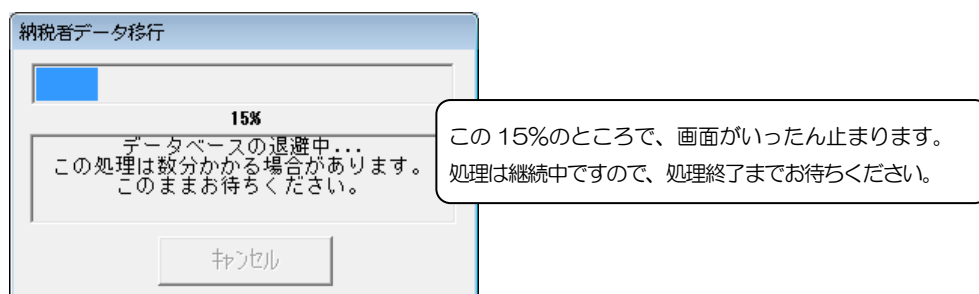
移行後の事業年度は次のようになります。

期末年月日が H23.3.31 以前	期首年月日、期末年月日とも+1年
期末年月日が H23.4.1 以降	期首年月日、期末年月日ともそのまま

◆ 移行処理時間

データ量が多い場合、データ移行に多くの時間を要する場合があります。

データ件数、PCの処理速度にも依存しますので、一概にはいえませんが、状況によっては30分～1時間程度かかる可能性もあります。



3

システムの変更点

2014年9月16日に行われた地方税ポータルセンターのシステム更改に対応しました。

操作方法に影響するような変更はありません。

以上